



市政への貢献をたたえる

「平成25年度花巻市感謝状贈呈式」が7月5日、なはんプラザで行われました。本年度感謝状が贈られたのは、保健推進委員や交通指導員、学校医などの市の非常勤特別職を長きにわたって務めていた方や、金品を寄付された方など42人の皆さんです。

市長は「それぞれの立場での長年にわたる尽力に感謝します。これからもまちづくりへの支援をお願いします」とあいさつ。各分野で貢献してきた皆さんに感謝の意を表しました。

平成25年度 花巻市感謝状贈呈式



まちづくりへの尽力がたたえられ、感謝状が贈られた皆さん

花巻球場リニューアルオープン

大規模改修を終えた花巻球場のリニューアルオープン記念行事が7月6日、同球場で行われました。

今回の改修により、グラウンドの水はけの改善やスコアボードの改修などが行われたほか、スピードガン計測装置が新たに設置されました。

オープニングセレモニーでは、スコアボード点灯式に続いて、スピードガン表示始球式を実施。その後、招待チームによる記念試合が繰り広げられ、選手たちは生まれ変わった球場で、はつらつとプレーしていました。



スピードガン表示始球式で127キロを記録した東和中の佐々木投手

水害に備え水防演習

本市、遠野市、国土交通省、県で組織する実行委員会が主催した「北上川上流花巻地区合同水防演習」は7月7日、北上川右岸の朝日橋下流河川敷で行われました。

本市と遠野市から消防団員240人が参加。関係機関・団体の来賓や市民の皆さんが見守る中、シート張り工法や土のう作成・搬送訓練、積み土のう工法などに真剣な表情で取り組みました。

実践さながらの演習を行った消防団員の皆さんは、水害が心配されるこれからの時期に備え、防災への決意を新たにしました。



シート張り工法は、水の勢いで堤防がえぐられることを防ぐため、シートで斜面を保護する工法です

名物おやつ勢ぞろい

名物おやつが一堂に集まった「花巻BB（べつばら）フェア2013」は7月6日と7日の両日、交流会館で開催されました。合同開催の花巻観光物産展の18店を含め、市内外から73店が出店。焼きプリン大福やしょう油たこ焼き、花巻パーガーなど、各店自慢のおやつ200種類以上が勢ぞろいした会場には、たくさんの方の行列ができ、約1時間で売り切れた商品もありました。

両日も、自当てる商品を買いたい求めたり、食べ比べを楽しんだりする家族連れなどで大にぎわいでした。



目当てのおやつを買い求める来場客でにぎわいました

全国での活躍誓うー石鳥谷ファイブズ・花巻東ソフト部・花巻バレーボールスポ少

各種スポーツ大会で県大会を制し、全国大会に出場する選手・監督などが、相次いで市役所を訪れました。

7月4日、市長を訪問したのは、第18回全日本レディースソフトボール大会、岩手県予選大会で初優勝し、同全国大会への切符をつかんだ社会人チームの石鳥谷ファイブズの皆さん。本間行夫監督は、「昨年までの1.5倍は練習してきた。チームワークの良さには自信がある。2勝してベスト16入りすることが目標」と抱負を述べました。

同16日には、全国高校総合体育大会に出場する花巻東高校女子ソフトボール部の皆さんが市役所を訪れました。小田島順造校長は、「今回の県予選で2年連続6回目の優勝



石鳥谷ファイブズの皆さん



花巻東高校女子ソフトボール部の皆さん



花巻バレーボールスポーツ少年団の皆さん

勝を果たした。「スポーツの花巻市」を掲げることができるよう頑張りたい」とあいさつ。皆川美穂主将(3年)は、「全国のレベルは高いが、ソフトボールができる感謝の気持ちを持って全力でプレーする。目標はベスト16」と健闘を誓いました。

同18日には、第33回全日本バレーボール小学生大会・岩手県予選大会で初優勝し、同全国大会に出場する花巻バレーボールスポーツ少年団の皆さんが市役所を訪れました。齊藤寛人主将(宮野目小6年)は、「粘り強く拾ったり、打ったりしてベスト4を目指したい」と決意を表明。市長は、「みんなの力を出し切れば目標を達成できる。岩手の代表として楽しみながら自分の実力を発揮してください」と激励しました。